



高砂小だより

特別号

2024（令和6）年

3月 発行

藤沢市立高砂小学校

校長 東 麻子

＜2023年度学校評価アンケート調査のまとめ＞

今年度もよりよい学校づくりをめざして、1月にオンラインによる学校評価アンケートを実施しました。お忙しい中、回答にご協力ありがとうございました。アンケートの集計や考察を終えましたので、結果のまとめをお知らせします。

このアンケートは、学校運営や教育活動のふりかえりと改善の参考にするとともに、学校、地域、保護者の皆様との連携協力による開かれた学校づくりの推進に活用することを目的としています。

対象：児童・・・3年生と5年生の全児童 209名

保護者・・・1～6年生の全保護者 510家庭

地域代表として・・・学校運営協議会委員 13名 のみなさま

対象児童を、昨年度の5・6年生から、今年度は、3年生と5年生にしました。中学年と高学年の両方の回答を今後の指導に役立てたいと考えたためです。

保護者アンケートにつきましては、児童との相関関係も含めて分析しています。

評価項目は、今年度は昨年度とほぼ同じ内容で行いました。

評価基準については、「A:そう思う」「B:だいたいそう思う」「C:あまりそう思わない」「D:思わない」の4段階としています。

これまでの結果分析において、学校達成率（A/Bの評価の合計）が70%以下の場合に課題傾向にあるととらえてきているため、今年度もほぼ同じようにみていくこととしました。

昨年度の反省を生かし、オンラインによる調査回答期間を延長したり、複数回お願いをしたりしました。今年度は、89.6%の保護者のみなさま（昨年度66%）から回答を得ることができました。ありがとうございました。

学年の教職員で、集計結果を考察し、今年度の教育活動を振り返る機会を持ちました。

アンケート結果について

保護者のみなさまのアンケートでは、1項目を除いて、A/Bの評価が80%以上であったことから、概ね肯定的にとらえていただいていることがわかりました。また、3項目で昨年度よりも数値が低い結果でしたが、その他の項目では、数値が高い結果となりました。

A/B評価が77.2%となったのは、(11)学校の施設設備についての項目で、2023年1月から3月の教室増設工事、今年度は特別教室等の空調設備工事が夏休みから入っている関係かと考えました。市内では新しい方の校舎ですが、29年ほど経ったため、不具合も出てきています。工事は、市教育委員会学校施設課の計画に則り、進んでいます。その影響で、今年度は、サブグラウンドが十分に使えない

時期が多くなりました。ご不便をおかけしていますが、施設の改善のため、ご理解・ご協力をお願いします。また、修繕なども、市教委と連絡を密にし、なるべく早い対応に努めたいと考えています。

今年度5月に新型コロナウイルス感染症が5類となり、制限が緩和されました。基本的な感染予防対策は、現在でも心がけていますが、市内でも年間を通して、学級閉鎖が発生することもありました。これまでのコロナ禍の学習活動の中には、コロナ禍以前ほどの規模では取り組めていないものもあり、行事などで新しい形を考えながら実践する1年間でした。運動会の全校実施のよさを評価いただいた一方、徒競走やリレーを望むご意見をいただきました。これが、(2)子どもの実態や保護者、地域の願いを踏まえた学校づくりの項目での数値の減と関係しているものと読み取りました。校内でも、運動会の走競技について考えが出ています。現在のところ、次年度も午前開催での実施を基本に、内容については、今後検討を進めていくことにしています。

教職員配置の件では、ご心配やご迷惑をおかけすることの多い1年間でした。(12)学校が地域や保護者に学校の様子をよく伝えているの項目の数値に表れていると反省します。担任の不在期間が直前まで確定できず、校内でのやりくりに苦勞がありました。

(13)保護者のみなさまの学校の活動への参加の項目の数値もやや低い結果でした。授業参観などには、多くの保護者のみなさまに来校いただいています。運動会のボランティアやPTA 対外委員などへのご協力は少ない傾向も感じました。子どもたちは、保護者のみなさまの来校や参観がとてもうれしいようです。恥ずかしがる子も中にはいますが、とてもはりきっていて、ほほえましいです。ご家庭の様子とはまた違ってお子さまの様子を見たり、クラスの集団の中での様子や、お友だちとの様子も知っていただけたと思います。また、保護者同士の関係を育む機会となれば幸いです。お忙しいとは思いますが、ご協力をお願いします。

また、児童の回答で、家族に学校の様子をよく話すの項目は、2ポイント減でした。学年が上がるにつれて、だんだん話さなくなる場合もあるかもしれません。保護者のみなさまは、どう感じているのでしょうか。

今年度も、保護者やPTA、地域の方々にご支援をいただき、協力的な風土の中で、教育活動を進めることができ、ありがたく思っています。子どもたちの学校での姿や成長を保護者のみなさまに知っていただく機会を大切にしたいと考え、行事等を計画・実施してきました。学校運営協議会の取り組みも2年目となり、昨年度に加えて、子どもたちの活動やPTA 行事でも連携を広げることができました。

行事やいろいろな活動を通して、「やってみたら、楽しかった」経験を増やして、子どもたちの前向きな気持ちや、挑戦する意欲、達成感、自己肯定感を育むことで、「仲良く、力を合わせ最後までやりぬく子」、「進んで学び、深く考える子」の育成につなげ、学校教育目標にあげる子ども像に迫れるものと考えています。

(3)「分かりやすい授業」については、保護者のA/B評価が4ポイント増となりました。教職員は、授業改善に向けて、校内で引き続き研究を進めているところです。一方、児童の回答では、6ポイン

ト減となっています。学年が上がるにつれて、学習内容が難しくなるため、勉強がよくわかるとの回答が少なくなる傾向がありますが、学習指導への課題ととらえる必要を感じています。ティーム・ティーチング (T.T) の授業を増やしていくなど、学習内容を理解できるよう、丁寧に指導していきたいと思えます。また、現在試行で、フリーのオンラインドリルを取り入れている学年があります。復習や問題練習に活用することで、学習内容の定着や、個々の学習状況にあった問題練習ができる利点の有効性を見ているところです。個に応じた練習ができること、継続的に、集中力を持って主体的に取り組むことができることに利点を感じています。

(4) 学校に楽しく行っている と (9) いじめ防止の項目では、保護者の回答は約2ポイント増でした。児童の回答では、休み時間は楽しい の項目は1ポイント弱の増、学校に行くのは楽しい の項目は1ポイント弱の減となっています。教職員の回答では、1ポイント弱の増で、いじめは絶対にあってはならないとの姿勢で未然防止や学級指導に努めています。また、学校が楽しいことが、全国的に増えている長期欠席を防ぐ力となるよう、今後も留意していきます。(6) の項目にもつながりますが、お子様のことで気になることがありましたら、ご遠慮なく、ご相談ください。

学校は、保護者や地域と連携し、ご理解・ご協力を引き続きいただきながら、「開かれた学校づくり」に努めてまいりたいと考えています。

A. 保護者 457 家庭 (1年 84, 2年 72, 3年 75, 4年 83, 5年 64, 6年 64)

	今年 A/B	昨年 A/B
(1) 学校は、教育目標や方針をわかりやすく伝えている。	88.0%	82.7%
(2) 学校は、子どもの実態や保護者、地域の願いを踏まえた学校づくりを行っている。	85.9%	87.9%
(3) 学校は、楽しく分かりやすい授業をめざし、努めている。	91.5%	87.5%
(4) 子どもたちは、楽しく学校へ行っている。	94.1%	92.3%
(5) 学校は、児童一人ひとりを大切にされた教育活動に努めている。	85.3%	85.0%
(6) 学校は、子どもたちのことについて保護者の相談に応じている。	91.2%	90.7%
(7) 学校は、子どもたちの考えや意見を聞いている。	85.6%	86.3%
(8) 子どもたちは、気持ちよいあいざつができています。	85.7%	82.1%
(9) 学校は、いじめ防止に取り組んでいる。	83.0%	80.8%
(10) 学校は、子どもの安全や事故防止について取り組んでいる。	92.8%	92.7%
(11) 学校の施設や設備は、よく整っている。	77.2%	84.0%
(12) 学校は、保護者や地域へ学校の様子をよく伝えている。	84.9%	86.6%
(13) 保護者は、学校行事や学級活動に参加している。	83.9%	84.7%

B. 児童3年(101名)・5年(101名)	今年 A/B	昨年 A/B
(1) 学校の目標やきまりを知っています。	91.6 %	90.8 %
(2) 学校の行事は楽しいです。	92.4 %	89.1 %
(3) 学校での勉強はよく分かります。	86.5 %	92.5 %
(4) 学校に行くのは楽しいです。	84.5 %	85.1 %
(5) 委員会や係の仕事をがんばっています。	92.5 %	93.7 %
(6) 先生たちは、私たちの意見や考えを聞いてくれます。	94.9 %	94.3 %
(7) 先生や友だちやおはようボランティアの方などに、 自分からあいさつをしています。	81.5 %	85.1 %
(8) こまったときに相談できる先生や友だちがいます。	92.0 %	91.4 %
(9) 休み時間は楽しいです。	95.5 %	94.8 %
(10) 給食を好き嫌いなく食べています。	85.6 %	87.4 %
(11) きれいで過ごしやすい学校になるよう心がけています	87.4 %	90.8 %
(12) 家族に、学校の様子をよく話しています。	76.8 %	78.7 %
(13) 地域の行事(児童館・公民館・お祭りなど)に、 参加しています、行っています。	65.2 %	46.0 %

児童のアンケートからは、全般的に学校生活が安定しているように見取りました。

(2)の項目では、行事のよさや楽しさ・達成感を感じていることが各行事のふりかえりからもわかりました。みんなで取り組む楽しさを感じていることをうれしく思います。

一方、これまであまりできなかった活動が始まり、慣れなれていないことや、みんなで取り組むことを負担に感じている例もあります。コミュニケーション力を養うなど、集団と個の両面への支援に努めていきたいと思えます。

(3)の勉強に関しては、前向きな姿勢が感じられます。前述しましたが、「分かる授業」の実践に努めたいと思えます。

今年度は、専科の授業や、5年の教員による交換授業を実施するなど、教職員の授業研究に加えて、学級担任以外で教科指導を行いました。

学び合いの時間を授業の中で取り入れたり、タブレットを利用した調べ学習やまとめ・発表などを行ったりしています。「わかる」「興味をもつ」ことが主体的に学ぶことにつながります。友達から学んだり、自分の考えを広げたり、深めたりする学びも大切にして、子どもたちの可能性を伸ばすとともに、学習内容が難しくても、学習に粘り強く取り組む姿勢を養う必要を感じています。

今年度も5・6年生を対象に、夏休みと冬休みに学習支援の勉強会を実施しました。自分で勉強道具を持参し集中して取り組んでいました。継続して参加する人が増えてきました。次年度も実施できればと思います。

(1) 学校目標については、周知の機会があまりないため、昇降口など複数か所に掲示をしています。

高砂小学校目標（目指す子ども像）

心身共に健康で、自ら考え、正しく判断し、自主的で創造性豊かな児童を育成する

た：他を思いやる子

か：体をきたえ、安全に過ごせる子

す：進んで学び、深く考える子

な：仲良く力を合わせ、最後までやりぬく子

2023年度児童会運営委員会 学校目標

^{スリー}3 Challenge : 思いやり 前向き 楽しく

今年度は、児童会の運営委員会で、上記の目標を掲げて取り組んでいます。低学年にも委員が丁寧に説明をしたので、子どもたちの意識が高く、これら3つを心がけて生活しているように感じます。学校教育目標と合わせて、子どもたちの目線で主体的に目標をもち取り組めたことは、素晴らしいです。この取り組みを引き継いで、今後も指導していきたいと思えます。

(5) 係の仕事、(11) きれいで過ごしやすい学校の項目では、約2ポイント減でした。クラスの係活動や高学年の委員会活動などの熱心な姿も見られますが、責任をもって役割を果たす、自分のことは自分です、掃除などの奉仕活動などに消極的な場合もあります。2極化している点の一つとも考えます。よりよい環境づくりに参加するSDGsの考えにもつながるものです。個々の取り組みに加えて、みんなで協力して取り組むことも大切なので、主体的な行動力を養っていききたいと思えます。

(10) 給食がおいしく、残食が少ない傾向は継続していますが、数値的には、2ポイント弱の減となりました。アレルギー対応が増えています。食育の指導を各学年で計画的に実施しました。

(13) 地域の活動への参加が20ポイント近く増えました。中学年の回答が入った影響もありますが、5年生の回答を昨年度と比較しても3ポイントほど増えています。地域とのつながりが増えたことがうかがえます。校内での活動でも地域の方々に支援していただくことが増えています。相互の関係をさらに築いていきたいと思えます。

1月のこまの教室に来てくださった学校運営協議会の会長さんが、「その日の放課後通学路で会った1年生が声をかけてくれて、お話しした。『ありがとうございます』とお礼も言われた。」と、話してくださいました。辻堂市民センター長さんからも、あのあと朝の見守り中に1年生に、こまのお礼を言われたとお聞きしました。温かい気持ちになりました。このようなお話やあいさつが増えるといいなと思えます。(7) あいさつの項目では、保護者の回答は約4ポイント増、児童の回答は約4ポイント減です。教職員の回答は1ポイント弱の増ですが、A/B評価は3割程度と大きく保護者・児童の回答と隔たりがあります。あいさつをしよう！との声かけを学校全体で年に何度かしていますが、なかなか定着しない児童も多く、2極化していることを感じています。声をかけても、無反応な子どもが見られます。ご家庭ではできているのかもしれませんが、コミュニケーションの点からも大切であることから、気持ちよいあいさつができるよう、引き続き、働きかけていきたいと思えます。

教職員のアンケートは、23項目について行っています。そのうち(2)(3) 学校教育目標と努力点の達成、(7) 外部機関との連携、(10) 生活指導上の問題の早期発見と迅速な対応、(9) いじめの早期発見や再発防止の取り組み(20) 校外での計画的な体験活動、(22) 教職員は協働意識をもって取り組むことなどの項目で、昨年度よりもA/Bのポイント増の結果となりました。

(4) 児童の実態や保護者・地域の願いを踏まえた特色ある教育課程や教育活動の項目では、保護者のみなさまの回答と離れている点も見受けられました。改めて、ご理解いただけるように説明を丁寧にしたたり、ご意見をいただいたりする必要も認識しました。

D. 学校関係者（学校運営協議会委員） 12名	今年 A / B	昨年度
(1) 学校は、教育目標や方針、行事等の情報をわかりやすく伝えている。	92%	91%
(2) 学校は、児童の安全や防犯について取り組んでいる。	92%	100%
(3) 学校は、地域の特色や教育力を学習や行事に生かしている。	92%	91%
(4) 学校全体の雰囲気がよく、子どもたちはいきいきのびのびしている。	92%	100%
(5) 子どもたちは、あいさつができ、礼儀正しい。	92%	91%
(6) 子どもたちは、やさしく思いやりがあると感じる。	92%	100%
(7) 子どもたちは学習態度がよく、まじめに取り組んでいる。	92%	100%
(8) 子どもたちは、楽しく学校行事に参加している。	92%	100%
(9) 教職員たちは、子どもたちをよく理解している。	92%	100%
(10) 家庭や地域でも、子どもの安全には協力して対応している。	92%	100%

年間5回の学校運営協議会を実施し、地域からの視点で、学校の取り組みに支援や示唆をいただいています。今年度は、C/Dの評価をいただいた項目が全項目にありました。A～D評価の高～低について説明が不足していたことも一因と考えています。

委員のみなさまは2年目となり、学校への理解が深まったと同時に、今年度は、行事の在り方などの変更も多く、実際に活動を参観していただく機会も多くなりました。学校運営協議会と関係のある取り組みの数が昨年の約2倍になりました。

令和5年度学校運営協議会の取り組み

- ① PTA ベルマークやテトラパックの回収（通年）PTA 自主活動への協力
- ② 子どもたちの作品展示（辻堂市民センター）（通年）
- ③ 新入学1年生 下校の見守り（4月）
- ④ ミシン学習の支援・・・6年の家庭科（1学期）
- ⑤ 七夕笹飾り用笹・・・地域（6月中旬）
- ⑥ 夏休みラジオ体操（7月 3日間）・・・PTA・地域と連携（辻堂市民センター・社会福祉協議会）
- ⑦ 児童館・市民センター見学 2年生活科（9月）
- ⑧ 運動会 応援（10月21日）
- ⑨ SDG 映画上映会（11月実施）4年～6年（辻堂市民センター、生活環境・まちづくり会議）
- ⑩ 工場見学 メルシャン（11月 3日間）5年
- ⑪ PTA 5学年イベント 湘南ウォーク見守り・プチ辻堂さんぽの実施（辻堂市民センター・まちづくり会議）（11月）
- ⑫ 学習発表 6年生 ハンドベルコンサート 12月（3日間）（辻堂市民センター）

- ⑬ 片瀬こま教室 1年 (1月) 片瀬こま保存会
- ⑭ 折り紙教室 1年 (2月) 辻堂市民センター折り紙サークル
- ⑮ 高浜中学校3年生来校 合唱披露 6年鑑賞・交流 (3月) アリーナ
- ⑯ 卒業式 (3月19日) 及び 入学式 (4月5日)

学校運営協議会では、あいさつに関して、家庭と学校が役割を分担して、取り組んでいく必要があることやあいさつ運動をしている学校の例などのご意見をいただきました。また、先日、高浜地域子ども支援会議の講演会で、昨今、なんでも二つに分けて考える(「よい・わるい」「○・×」など)風潮がある、との話を聞きました。「あいさつをする・しない」も2極化を感じるころですが、二つに分けて考えず、できる時を増やしていくという考え方も必要ではないか、という考えに至りました。

高砂の子どもたちは、明るい。行事に参加した時、子どもたちが自分の考えをしっかりと発表している姿がすばらしかったと、学校運営協議会委員よりお話がありました。日々の積み重ねを大切に、よいところを伸ばしていきたいと思えます。

子どもたちの健やかな成長から、地域や地域の人々は元気をもらっている。そして、ともに子どもたちを守り育てている。という考えをありがたく感じました。

D. 自由記述・学校関係者評価委員会(学校運営協議会委員)のご意見 ↓

- ・学校主体として各種取り組みをしてくださり、ありがとうございます。1年、6年生とも様々な新しい地域との取り組みがあり、低学年は楽しんでいて、高学年は地域のことを知ることができたようです。なかなかアイデアも協力もできていませんが、何かあれば、お手伝いできますので、お声をおかけください。
- ・学校運営協議会に参加させていただき、地域のいろいろな取り組みをしている方がいると改めて知ることができ、勉強になりました。高砂小の子どもたちと触れ合うことも増え、声をかけてくれたり、あいさつをしてくれる子や保護者の方もずいぶん増えました。学校と地域のつながりが大切だと改めて思いました。ありがとうございました。
- ・学校運営協議会2年目の取り組みとしては、とても充実したたくさんの取り組みができたと思う。来年に繋げられそうな取り組みが多く期待できそうだ。
- ・2年間のコミスクの取り組みご苦労様でした。1年目はそれこそ文字通り、「手探り状態」でしたが、2年目はさらに充実した取り組みが増えた気がします。地域の方のご協力をたくさんいただいてこそできた取り組みですね。地域があたたかく見守っているからこそ、子どもたちも安心して学校生活を過ごせるのだと思います。理想の地域の姿だと思います。準備等、大変な部分もあると思いますが、高砂小で築き上げた取り組みをベースにして、近隣の学校にも広げていかれるといいですね。
- ・学校 / 地域 / 公民館がそれぞれ連携して子どもたちのために活動されている様子がよくわかりました。今後ともお互いにできることをやっていくことが大切だと思います。
- ・旧市民センターでは、白浜養護学校の作品展があり、楽しみにしていました。新センターになってから高砂小の児童の作品展示があり、楽しみにしています。ハンドベルの発表も少々お客様が少ないのは気がかりでしたが、すてきな時間でした。委員のみなさまがいろいろな分野のつながりをお持ちで、情報提供をされているのがすばらしいと思います。朝のあいさつができる・できないは、

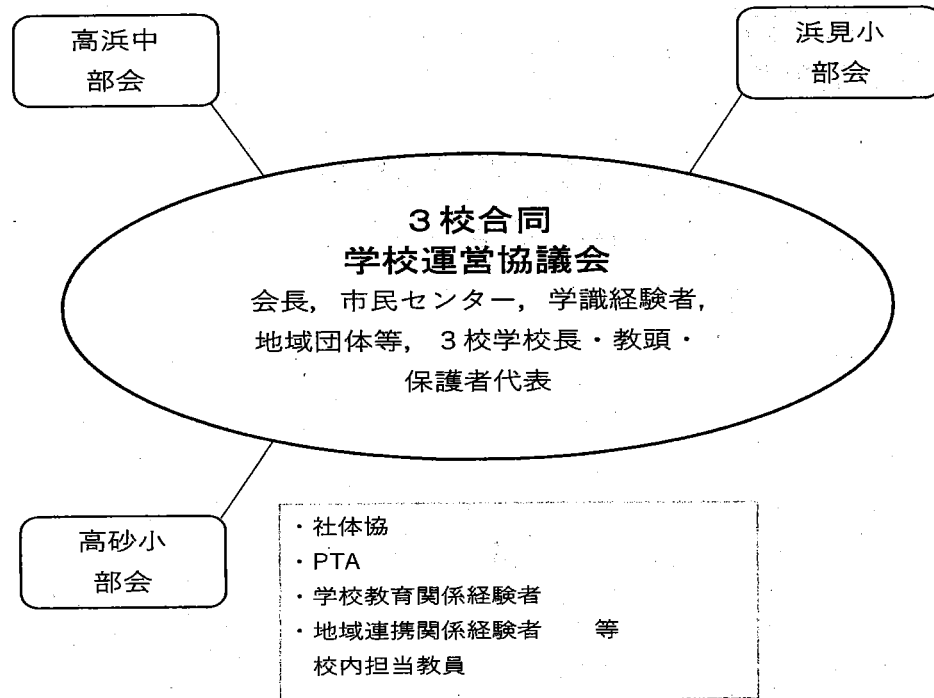
家を出る時の状況も大きく影響しているかと思えます。そんなことも考慮して、気持ちよいあいさつをしていきたいと思えます。

- ・2年間ありがとうございました。校長先生、教頭先生、また諸先生方の心あたたまると雰囲気がかどもたちに伝わっているような気がします。公民館、地域、小・中学校、高校の連携、高砂小らしい運営にこれからも期待しています。

今福会長さま、横田市民センター長さま、湘南工科大学禹教授、民生児童委員成田さま、児童館館長吉川さま、松島さま、学校教育経験者平松さま、まちづくり会議吉田さま、地域協力者他地区3者連携会長安藤さま、保護者代表高田さま、前教頭南さま、これまでの2年間お世話になった委員のみなさまに改めて感謝いたします。ありがとうございました。

2024年度は、高浜中学校、浜見小学校と本校で3校統合型学校運営協議会を組織します。これまでの2年間の取り組みを活かすとともに、学校の現状に合った地域との連携を進めていきたいと考えています。新年度5月に改めて、詳しくお知らせする予定です。

2024年度 高砂小、浜見小、高浜中統合型学校運営協議会イメージ



来年度に向けて

2024年度は、現在のところ、児童数639名、学級数21クラスを予定しています。

4月からは、教科書改訂の年なので、新しい版の教科書になります。

校内では、3年生以上で、デジタルドリル（有料）の導入を計画しています。これまで、購入していた一部の紙のワークブックなどに替えて、デジタル教材を利用します。情報モラル教育や、持ち帰りの場合やタブレット使用時の約束ごとなど、今後ご家庭でもご理解・ご協力いただくことも出てきます。新年度になりましたら、詳しくお知らせいたしますので、ご確認ください。

今年度も本校の教育活動へのご理解・ご協力・ご支援をいただきまして、ありがとうございました。おかげさまで間もなく、卒業式・修了式を迎えます。子どもたちとともに、この1年をしっかりと締めくくります。

来年度は創立60周年の一年になります。引き続き、どうぞよろしくお願いたします。